

## とうきょう すくわくプログラム活動報告

社会福祉法人 雲柱社  
虹のひかり保育園

### テーマ “色” 4歳児クラス

#### あさがおから草木染へ

園庭のあさがおが咲き終わり、色水遊びや種の採取が終了した後、あさがおでは染色までは至れなかったため、子どもたちが自分の手で色を生み出す体験を大切にしたいと考え、草木染を実践することになりました。染める素材は日常で使えるトートバックとし、ビワの葉は園庭遊びの度に目にしてきたお隣のお爺さんの庭にあり、子どもたちには親しみのある植物だったこと、コーヒーは担任の休憩時間に漂う香りに子どもたちが気づき、「おうちでもパパとママが飲んでるよ!」「知ってるにおいだ」と話していたことから、生活につながる素材として選びました。

実際に染めてみると、ビワの葉からは優しいピンク色、コーヒーからはあたたかい薄茶色が現れ「きれいな色だね」「コーヒーのいい匂いがするよ」と五感を通して感じ取る姿が見られました。

#### 地域とのつながり

ビワの葉は保育園の隣に住むお爺さんの庭から分けていただいたもので、子どもたちが「ありがとう」と伝えるとニコニコと頷いてくださり、活動を通して小さな地域交流が生まれました。身近な人とのつながりの中で色づく体験となり、子どもたちにとっても、温かな出来事となりました。

#### 子どもたちの姿

模様作りではゴムで布を縛る工程に加え、染液を混ぜる、布を絞るといったいくつかの手順を体験しました。ゴム結びに苦戦し、何度もやり直す子もいましたが、液の色が変わっていく様子を興味深く覗き込み、「なんでこんな色なの?」「これどうやって絞ればいいのか?」といった質問も出てきました。以前クラスTシャツを作った時の経験を思い出し、自分なりに工夫する子や、友だち同士で「こうするといいよ」とやり方を伝え合う場面もあり、自然な学び合いの中で、指先の使い方や力加減を考える機会となりました。

#### 保育者の関り

今回は卒園する年長組へのプレゼントとして製作したことを伝えると「喜んでくれるかな?」「すてきな色にしたい」と相手を思う声が聞かれました。活動の中で子どもたちが「ゴムのところだけ白く残ってるね」「結び方がちがうと模様もちがうよ」と気づきを口

にした場面では、保育者は答えを急がず、どこが違うのか染まったバックを見比べ、発見を言葉に繋ぐようにしました。また、ゴム結びや絞りの工程で戸惑う姿には必要な部分だけ手を添え、出来た過程を認める関わりを心掛けました。試行錯誤しながらも自分なりに工夫しようとする姿が広がりました。

### 振り返り：今後の展望

色から始まった本活動で、子どもたちが色の変化や素材の違いに心を向けるだけでなく、人との繋がりの中で活動が広がっていく様子見られました。ビワの葉を分けてくださった地域の方への「ありがとう」という気持ちや、卒園する年長組に「喜んでもらいたい」という思いは子どもたちが意欲的に取り組む力になり、誰かを思いながら手を動かす経験は、つくる楽しさをより温かなものにしていたと思います。また身近な生活にある素材を使ったことで、子どもたちは自分の経験と結び付けながら考えることが出来ました。これからも子どもが主体となる表現活動を大切に続けていきたいと思います。

